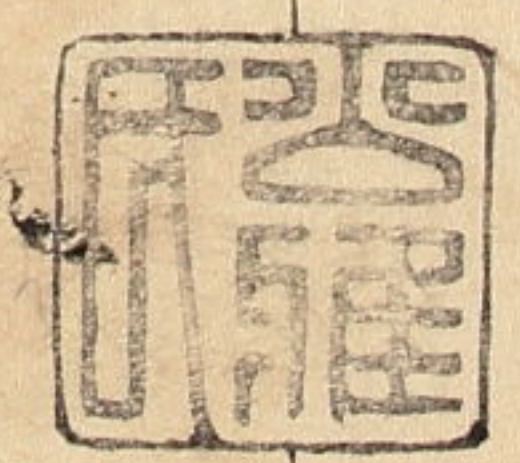
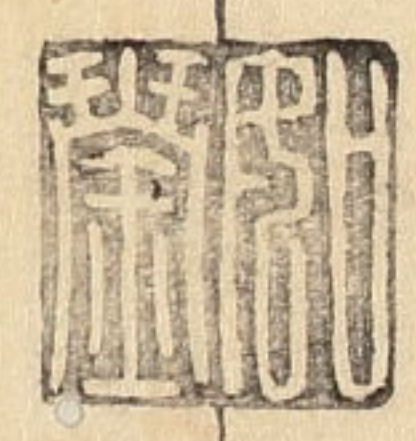


波羅都々美

吐火言刀没壺入壁者者
去之去者毛立殺栗是骨
他尔去之去道也去之尔者又
尔去尔者或一也其道为
而之平者以此再子方尔莫
而此山各清者多四时变之
彼吐火者刀没壺入壁出矣

百々平源寺師以能出井山寺
 高末可西語有求請四方
 安陽唱采一聲幸去
 憲政戊午百五淡山園主
 人為嵐兒書



人忠台結

幸いあり

うらやま

怒多

宜大





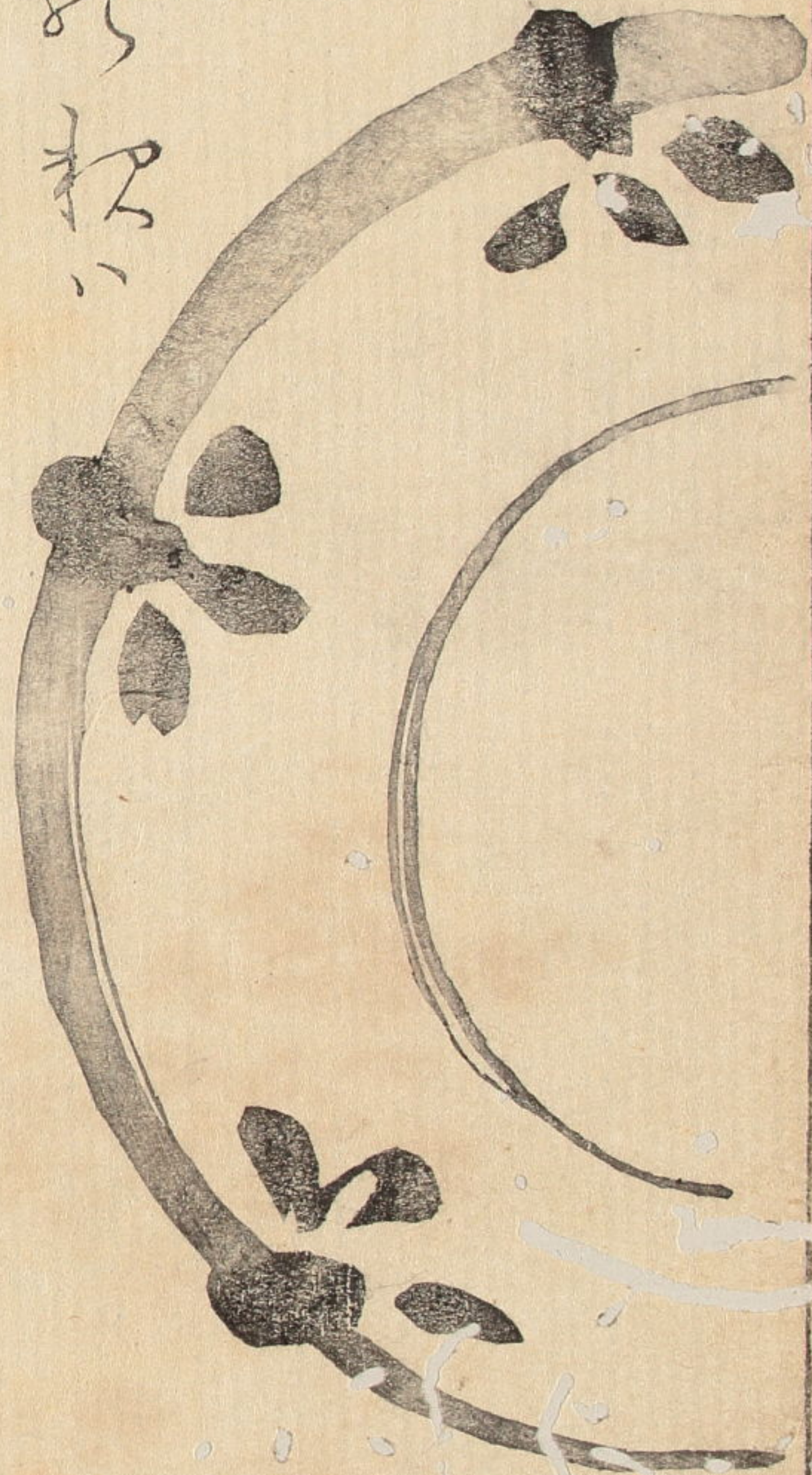
炭入新好く店や
 蟻洞
 きのきよ志の果

子
 子
 子

子
 子
 子

子
 子
 子

連子



美鼠

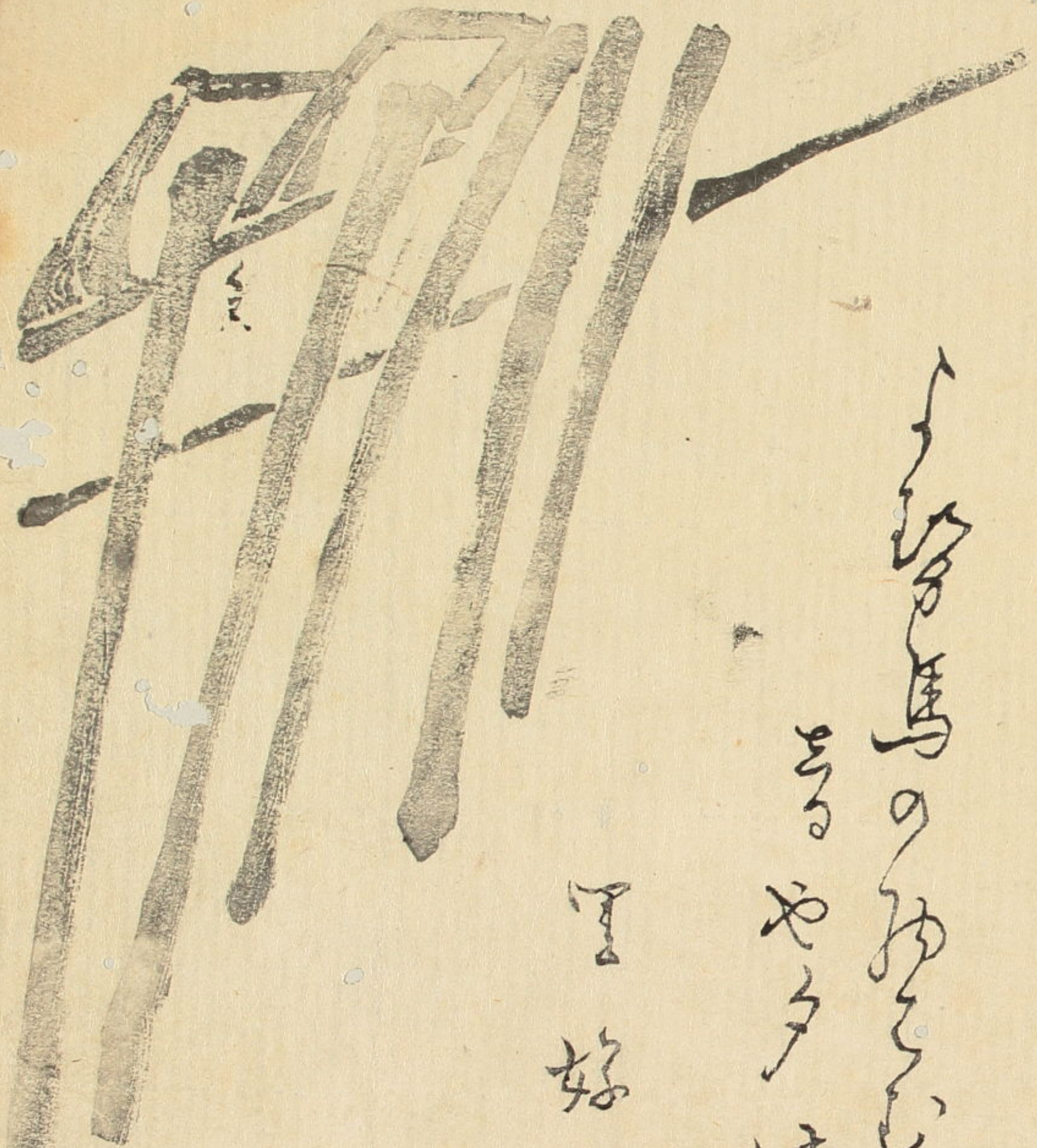
力
人
好



美鼠の

好

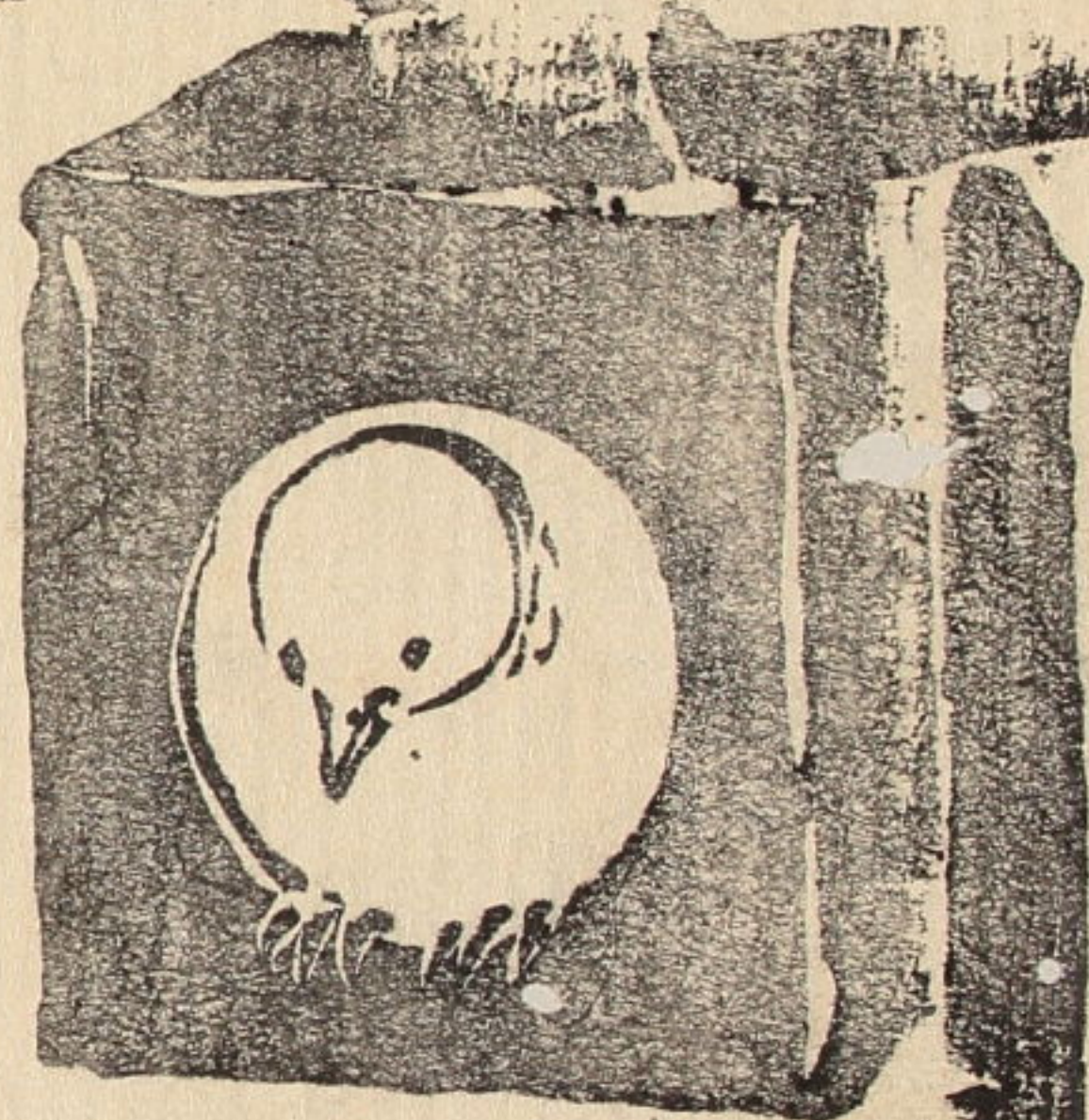
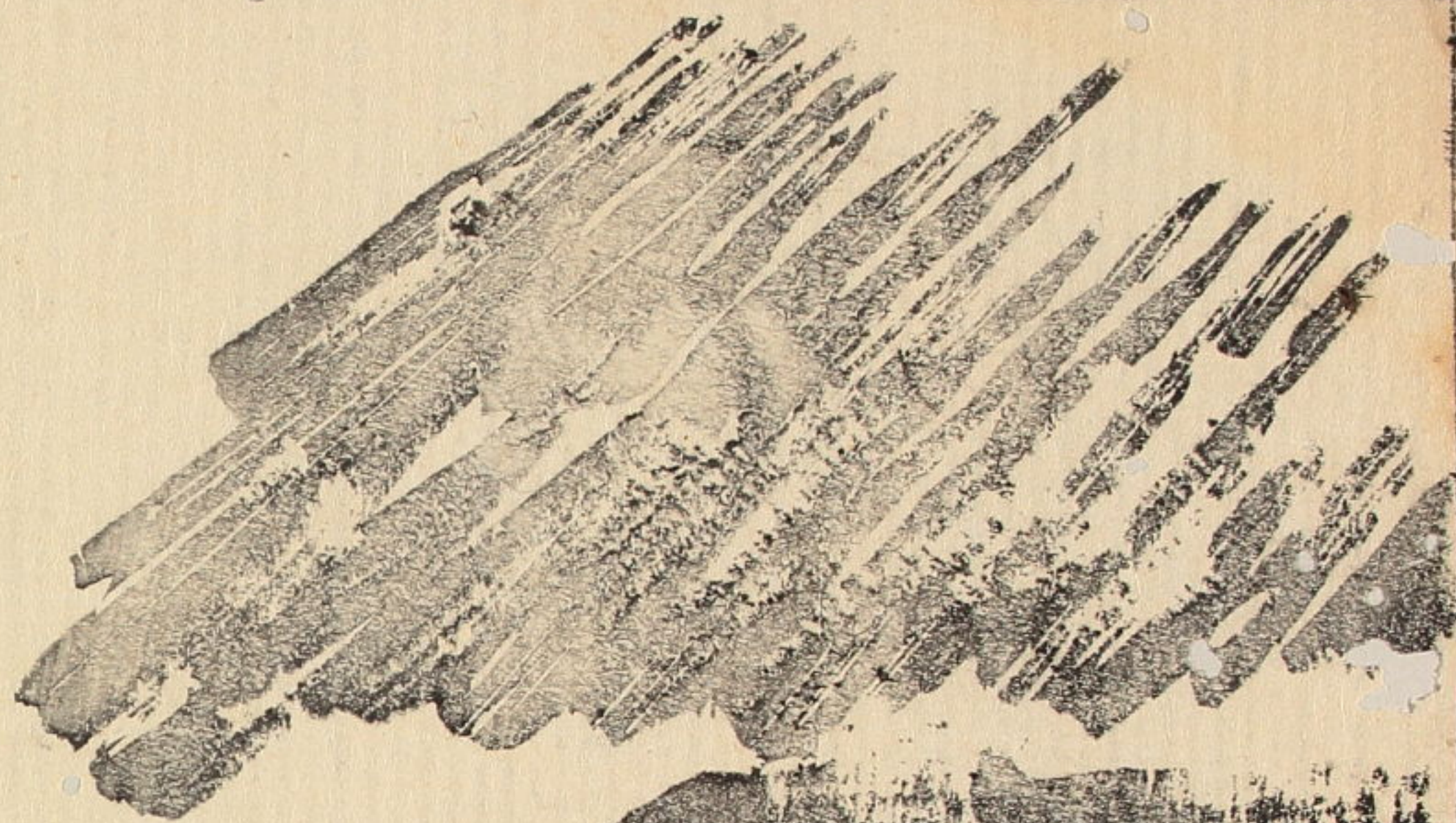
好





し
やうと嘆ふのうら

成
隆



様
の
名
の
う
ら
な
い
な
ら
ず

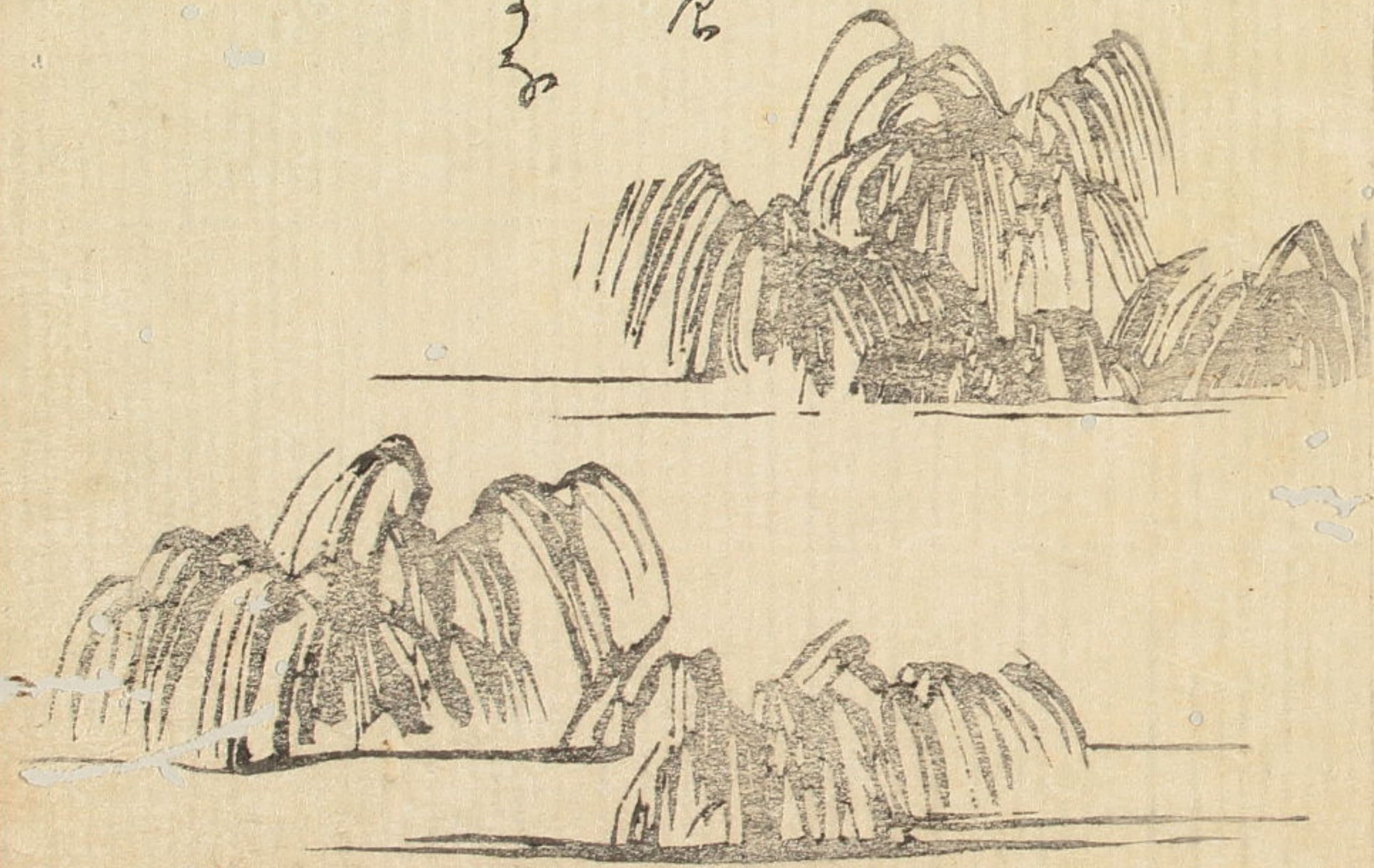
一
巴

馬了

力 初

柳 如
中 如 名

麻の月



名

夕 鳥 如

二 又 の 如

三

芳 和





飼鳥とあはれ
美由白此の

木公



沙々

月の白
孝子
三つ子
三つ子

佐尉

解 富中名二系六
輕 妙結



茶少水甘んあそ

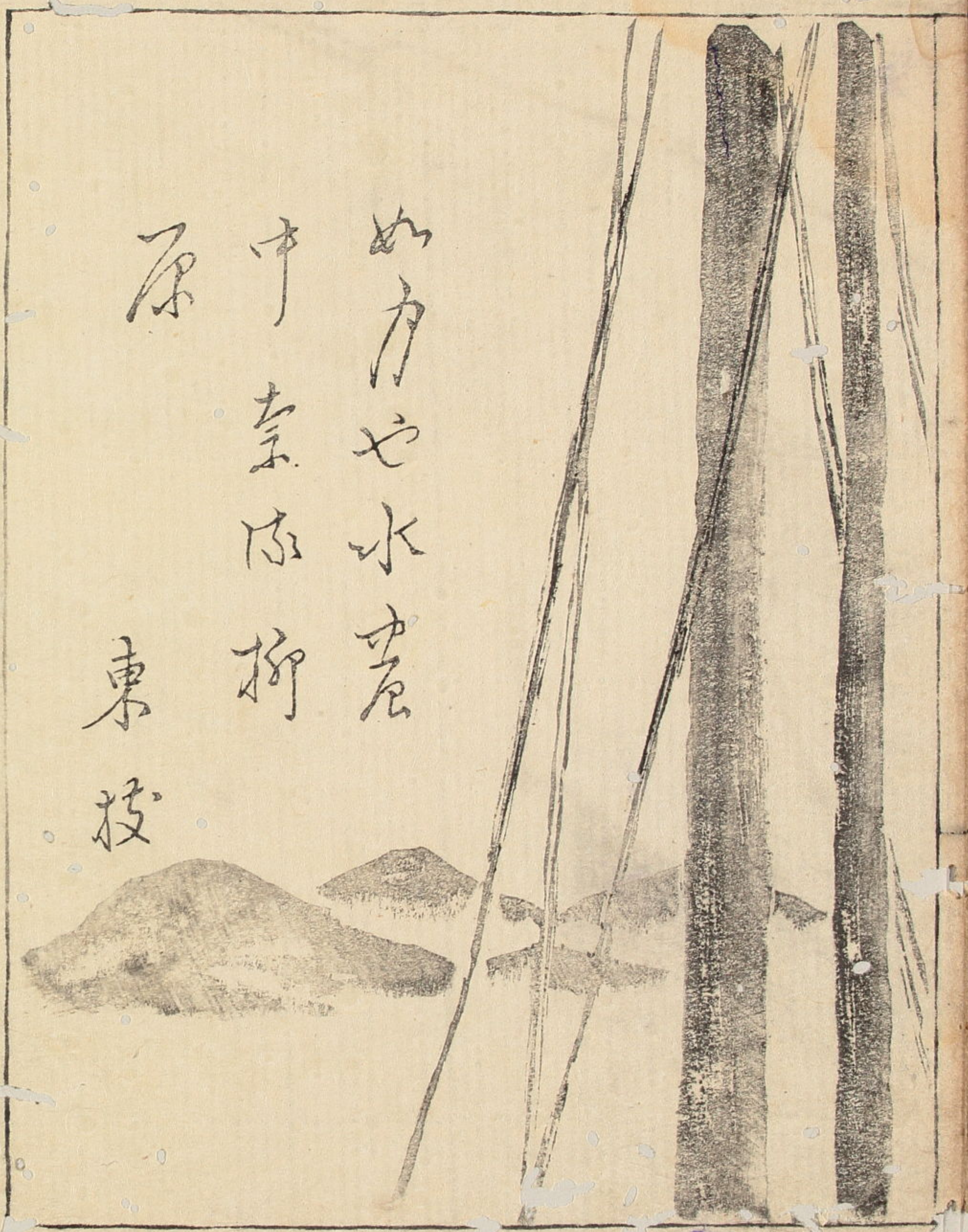
思乙ハきそゆ

李晨





賤ヶ谷の湖上
実石の舟



如力也水石
中原柳
東投

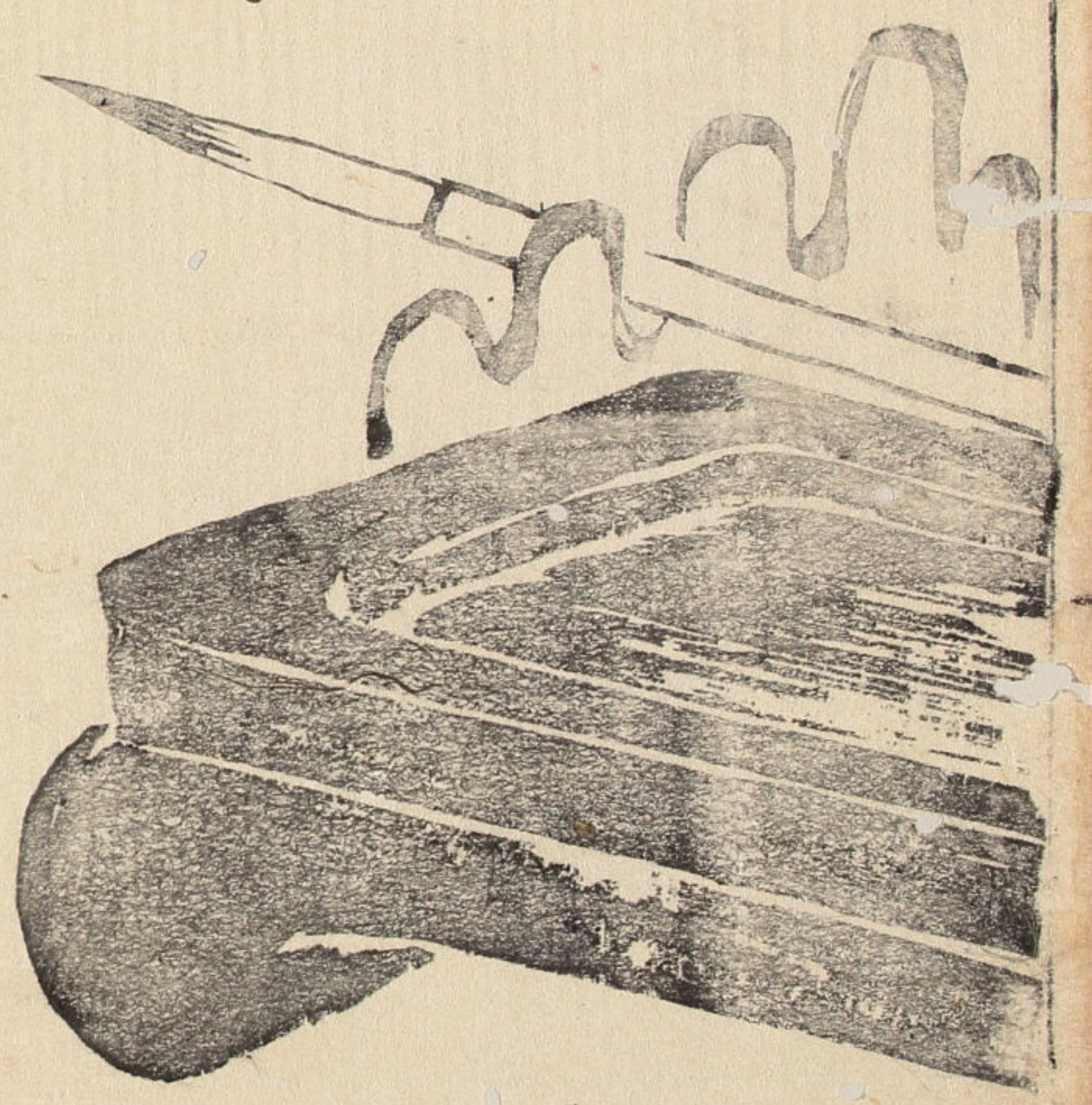
英山

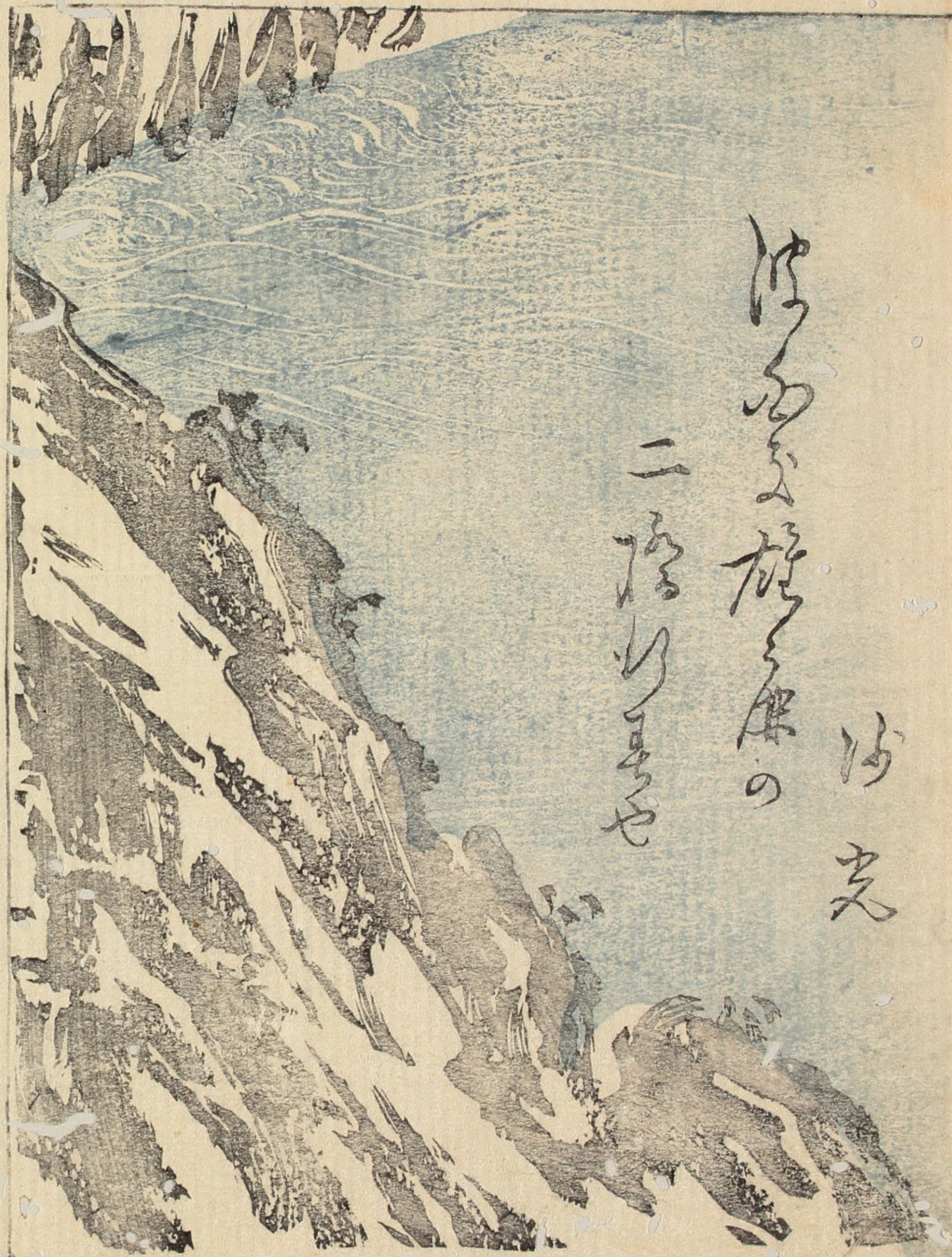
詩の地
石の
詩の
石の



三木

梅の
石の
詩の





沙走

河内之雄之原の

二橋之景也



秋風の浦人
の心も
甘んじ

芦尺

笠山

笠山の
山頂の
山頂の



巴峽

卸毛門
山頂
山頂



二月

観

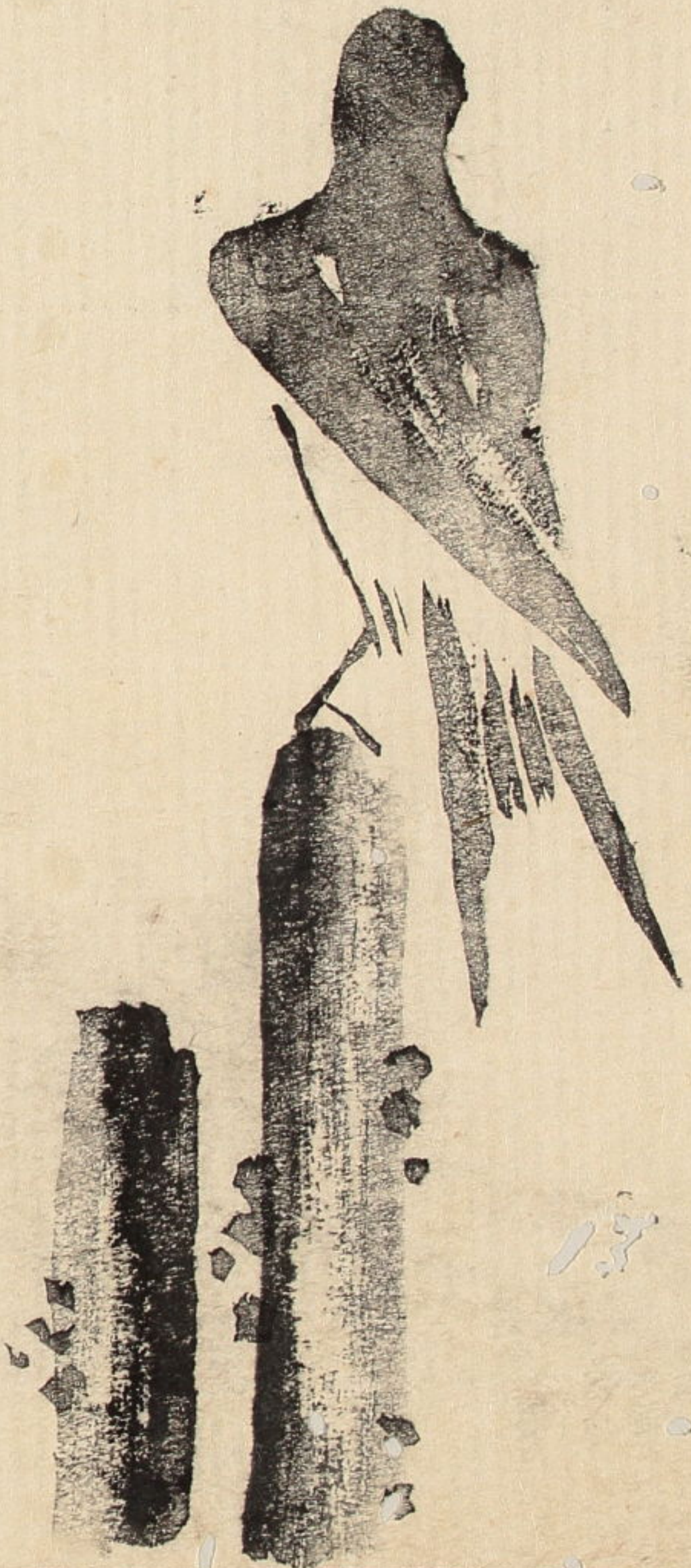
の

五川



毎
日の
魚
の
味

岩



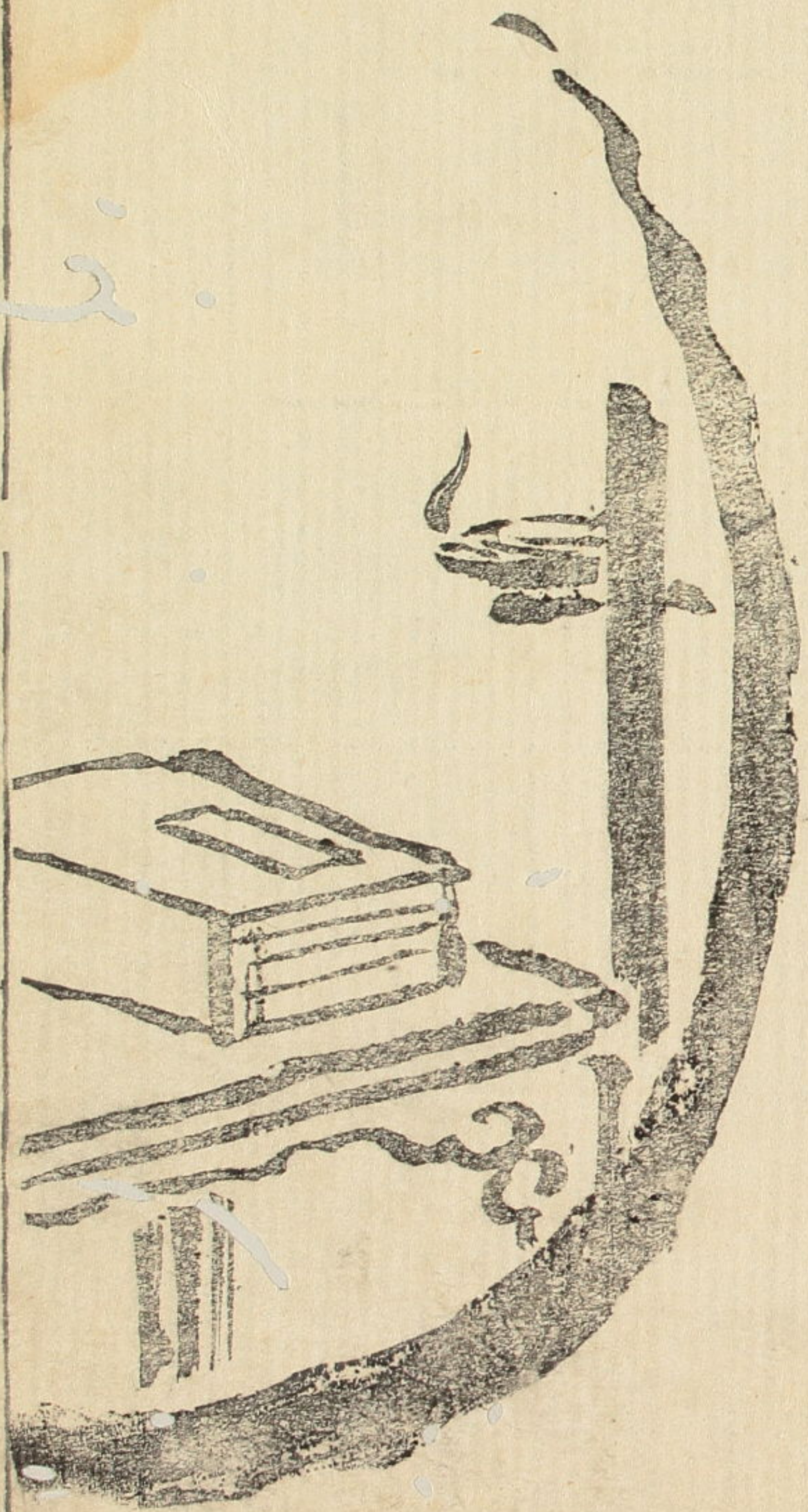
白糸の如く
流るる水

美橋



古人
松向

半解やるる水は流るる水



山吹の氷の森の舟の舟

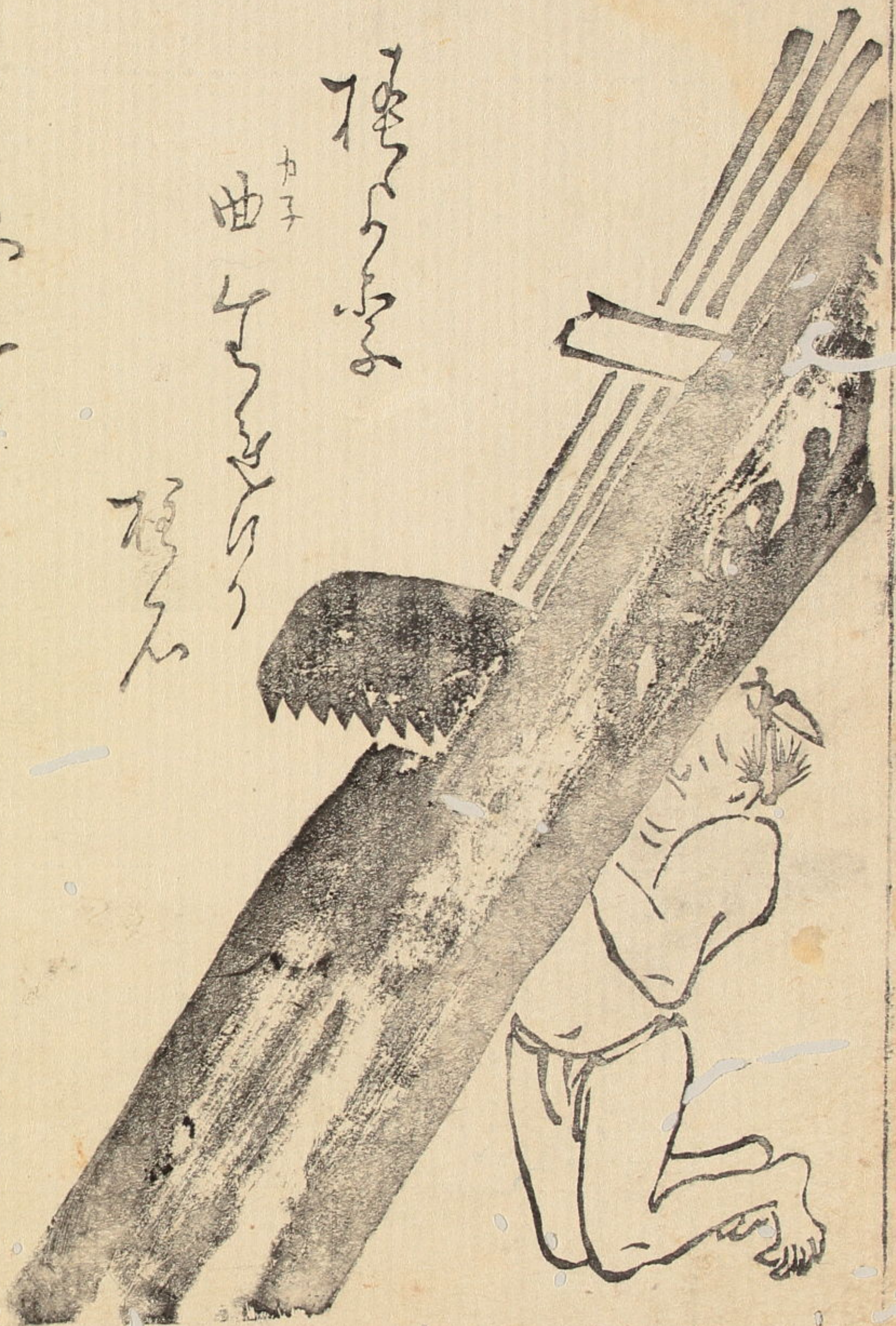
路舟

山吹

あつらひの舟の舟

巴友





張
琴

加子
曲

極
名

琴
言

衛
琴

琴
言

琴
言

琴
言

風
地

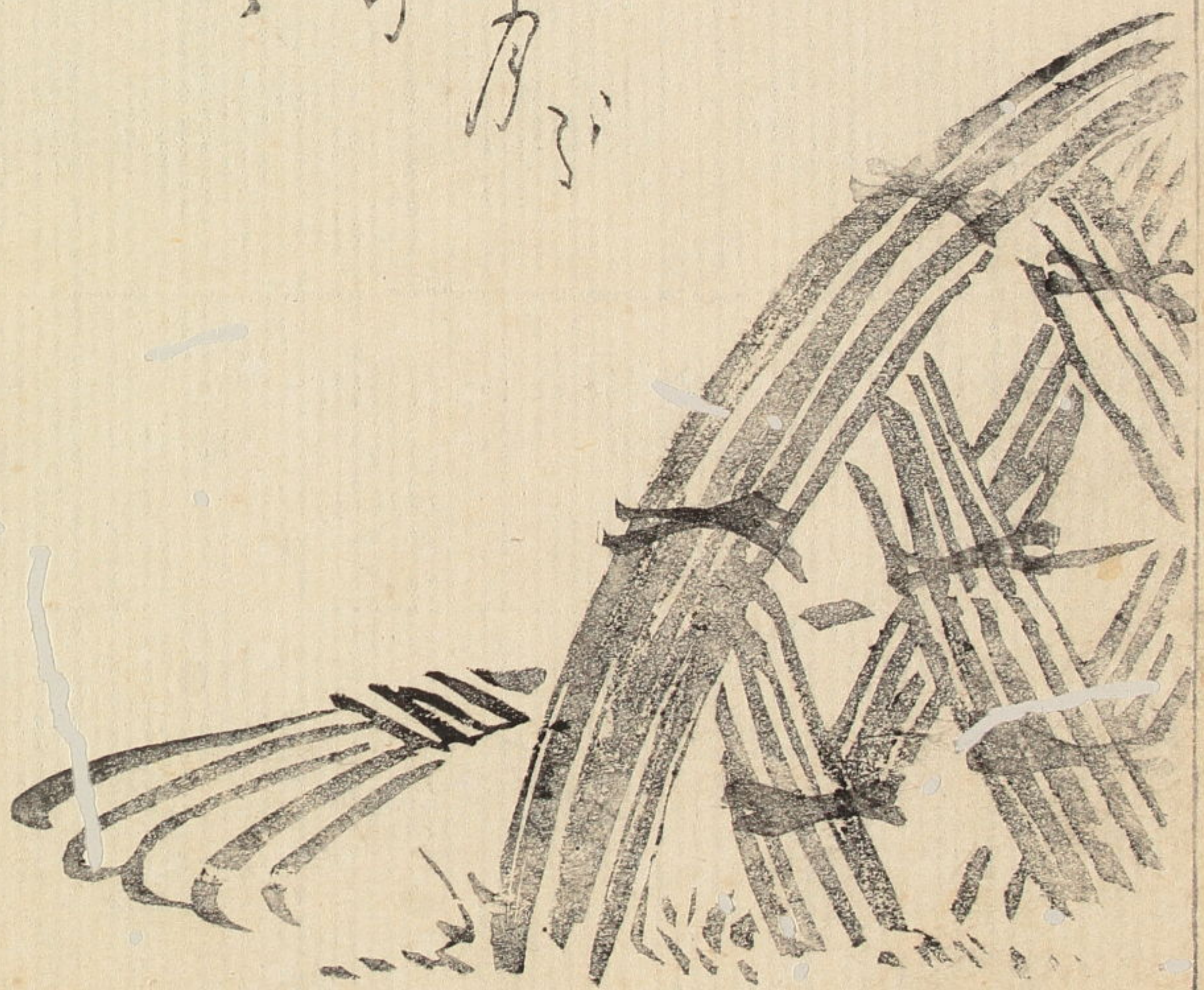


梅光

二月廿

あけ

松の戸

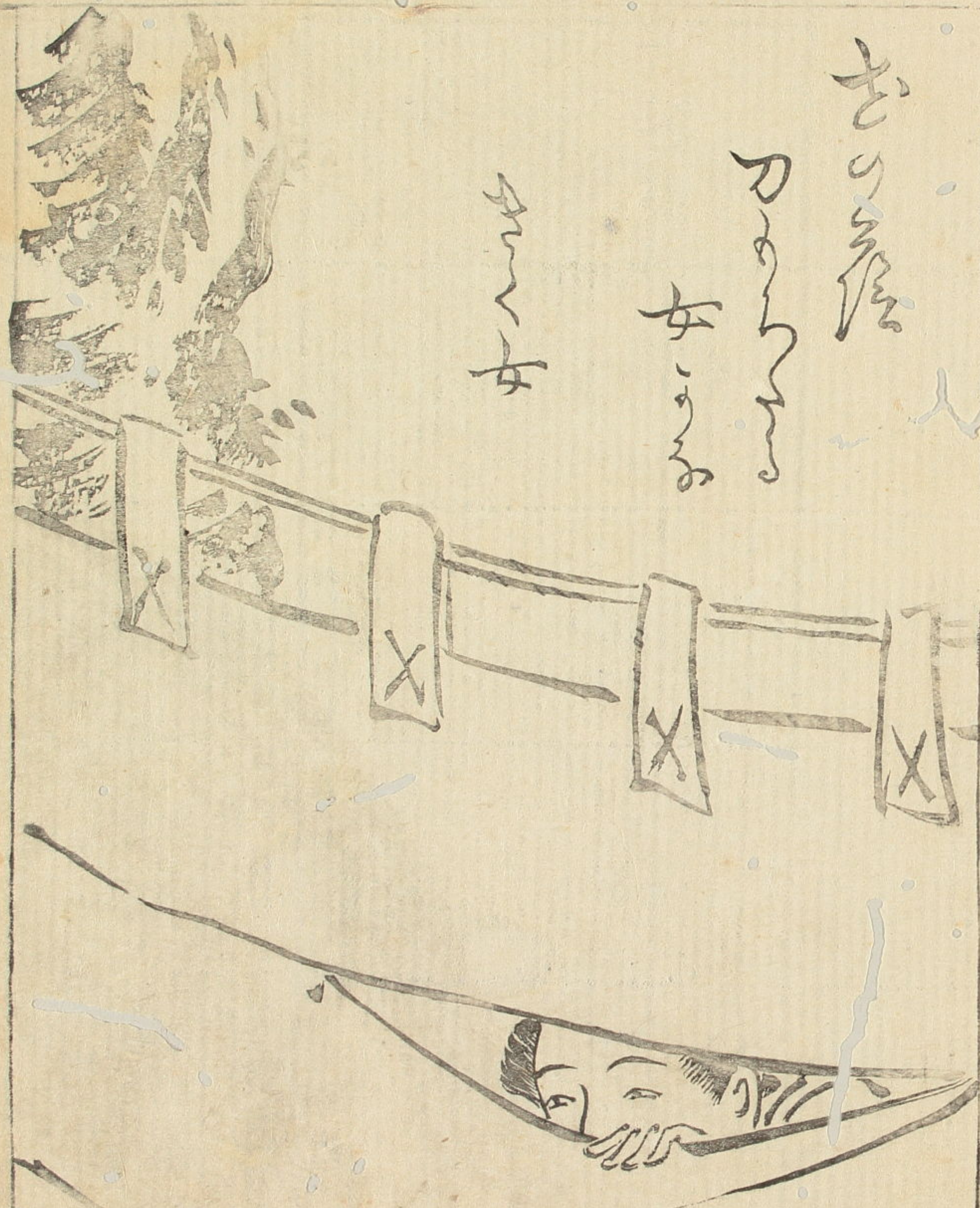


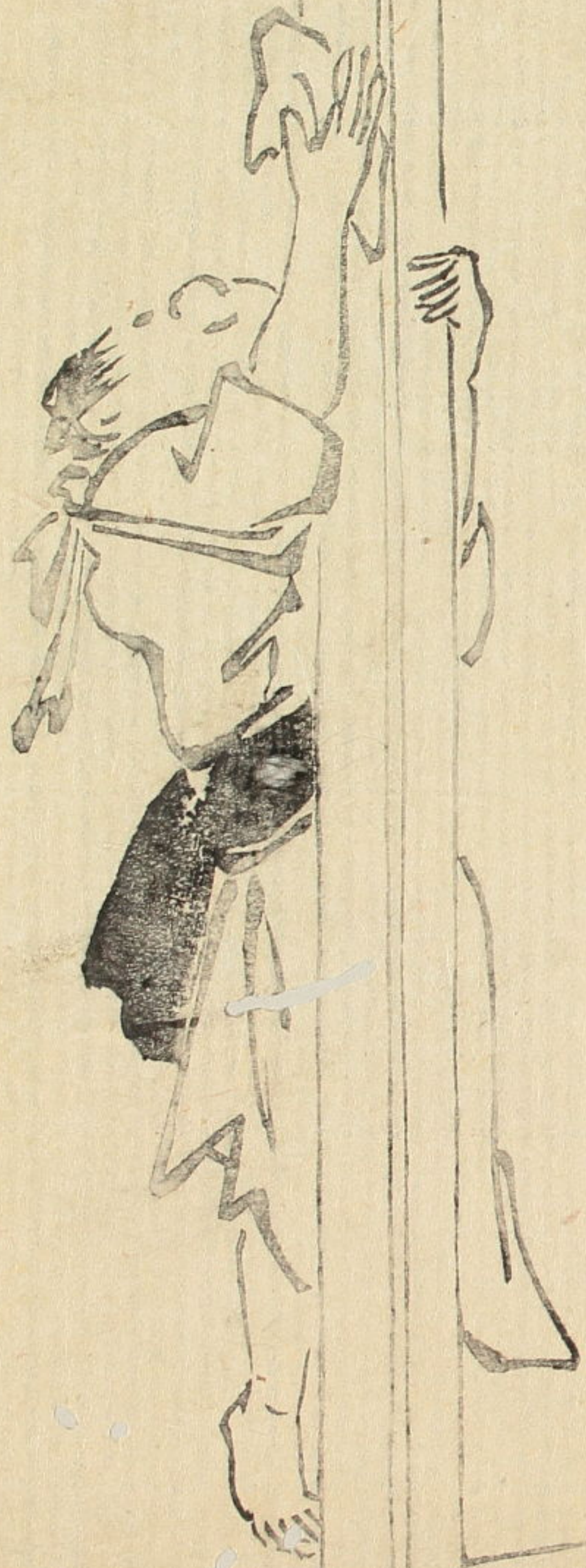
松の戸

あけ

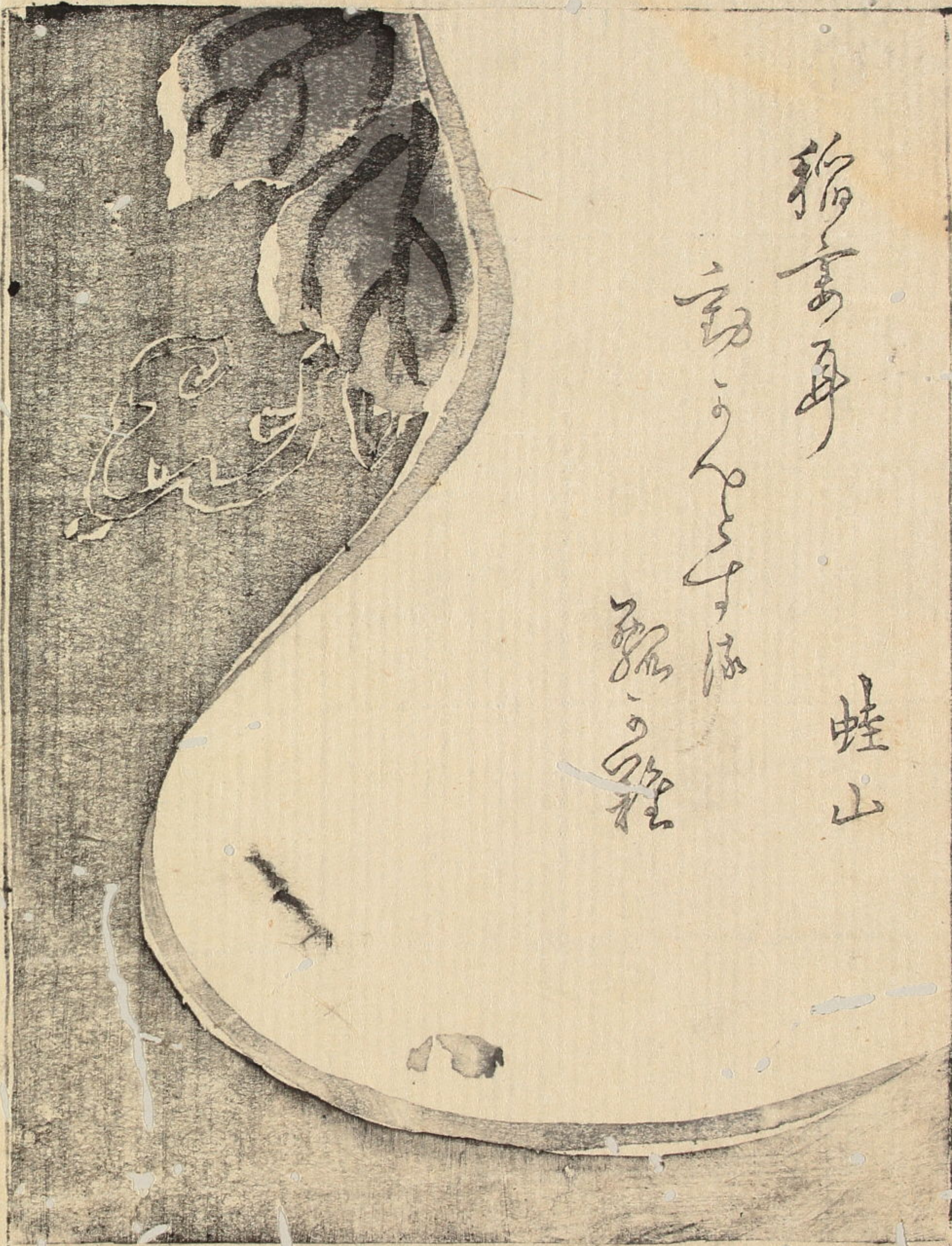
あけ

あけ





其歌
其歌
其歌



新書再

新書再

新書再

蛙山



神

子

子

子

子

子

子

子

子



芋飯

いづれ

時如

所如

睡



我平もさ桶の

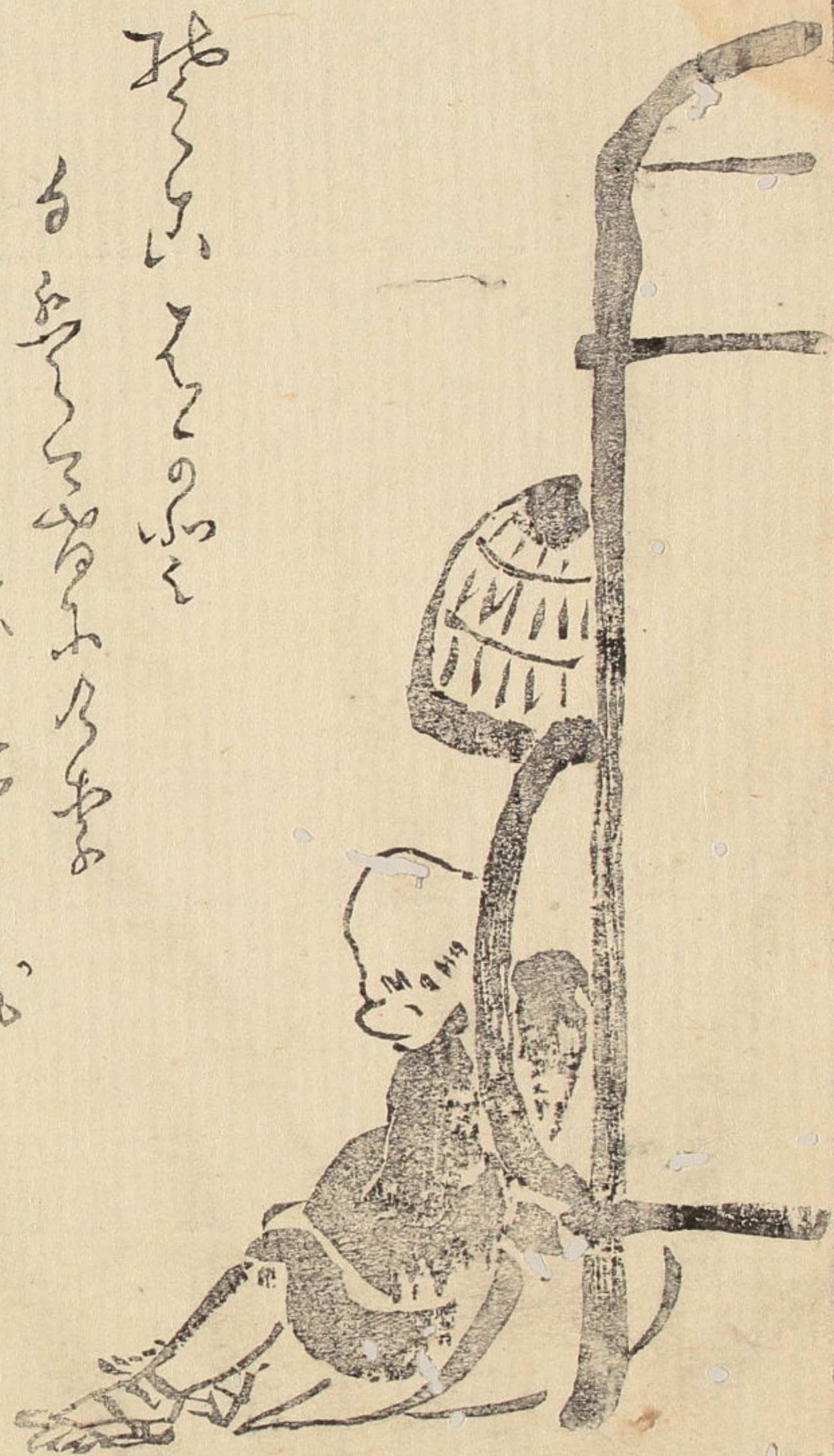
宿のまじり

春和





改題して一人廿名書かす丹の
草好



改題して一人廿名書かす丹の

草好

不台の草

佳笑



次白
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ



宗冬
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

来りては

まゝに

まゝに

如米

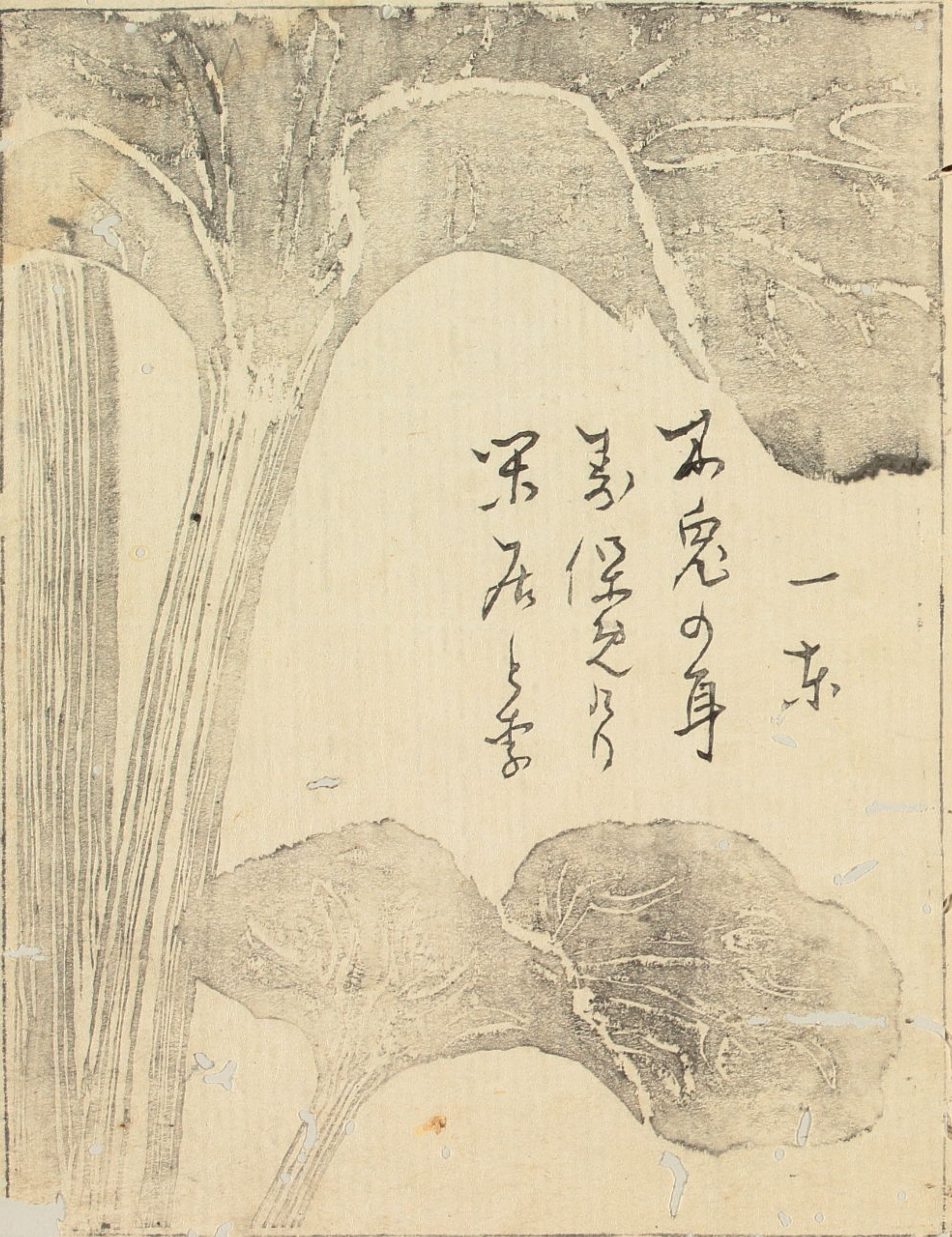


一 亦

不鬼の身

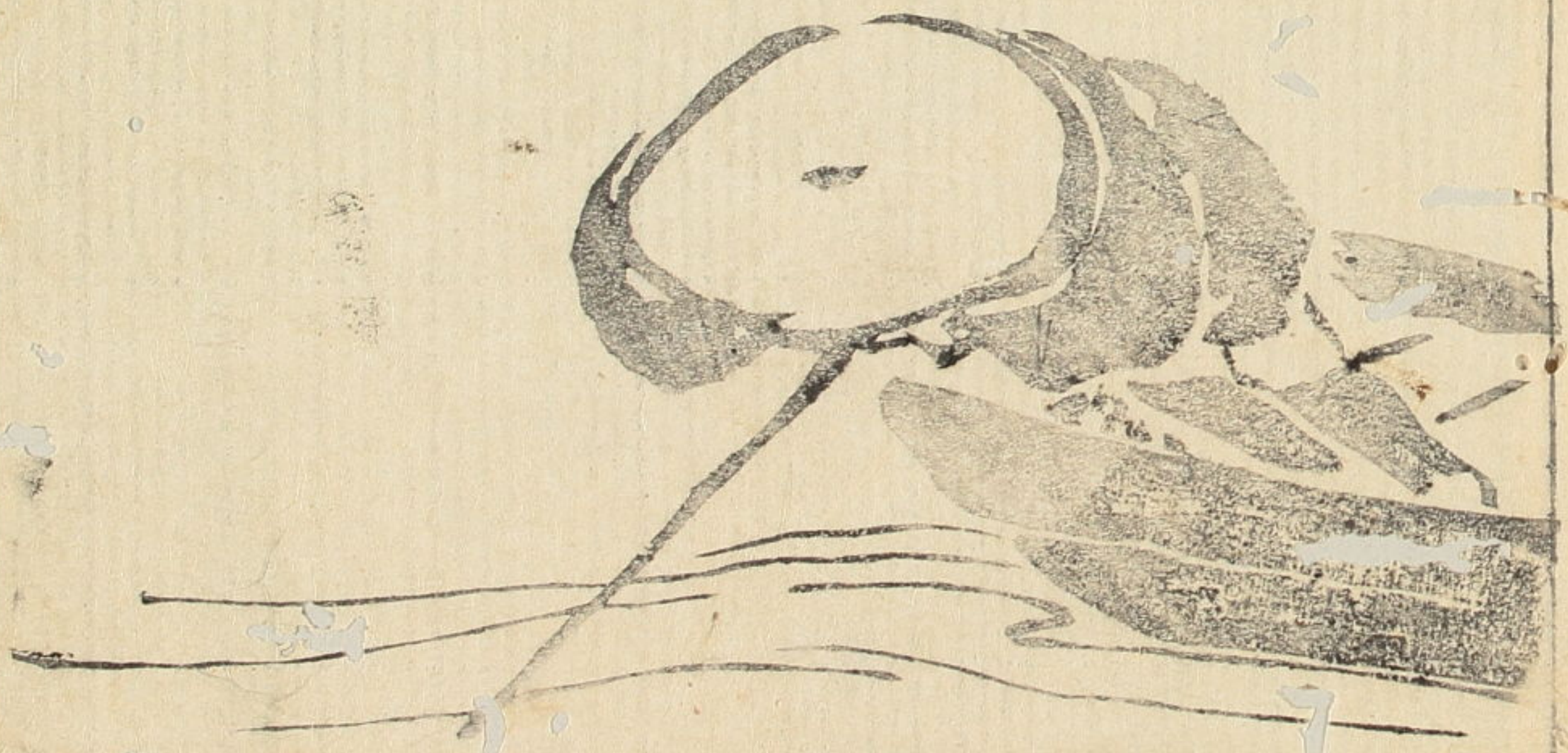
まゝに

来りては



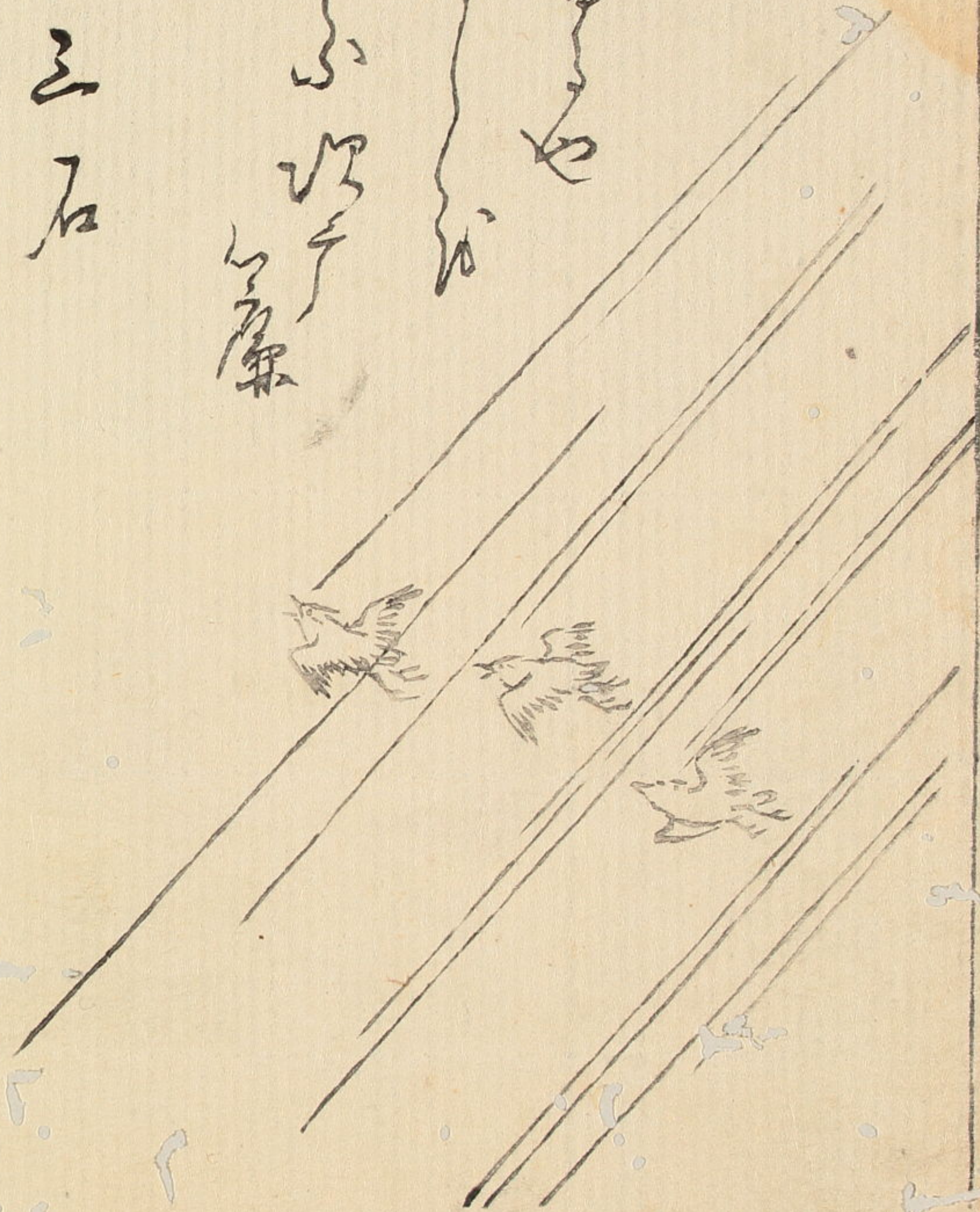
古杉

心
心
心
心
心



三石

心
心
心
心
心



流石の如し

三月のふゆ

求古
千敬



雨音

如し

如し

如し



知遊

名魚の
子
風流



高

心

心

招
花

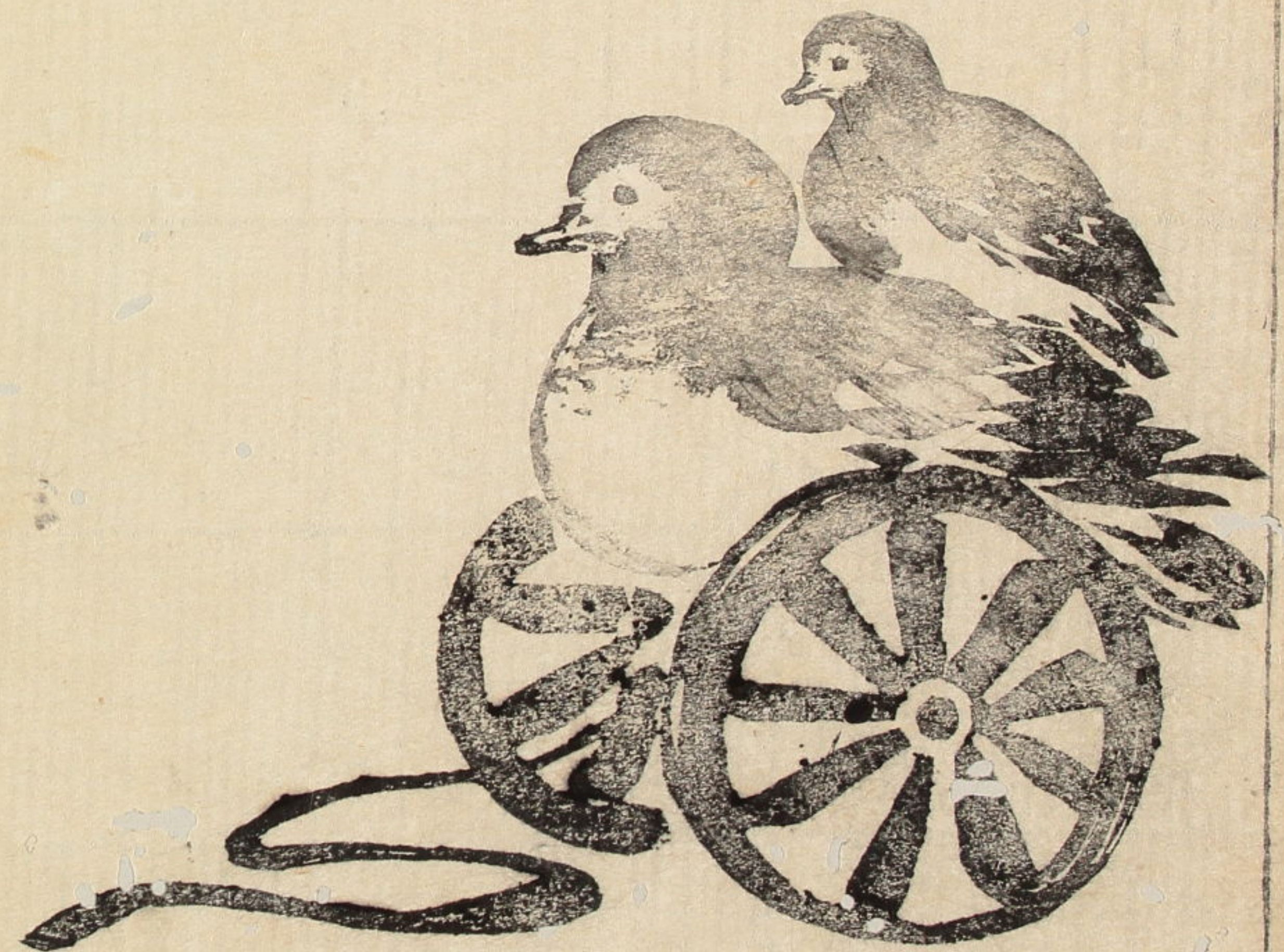


奇泉
 猫之
 奇泉



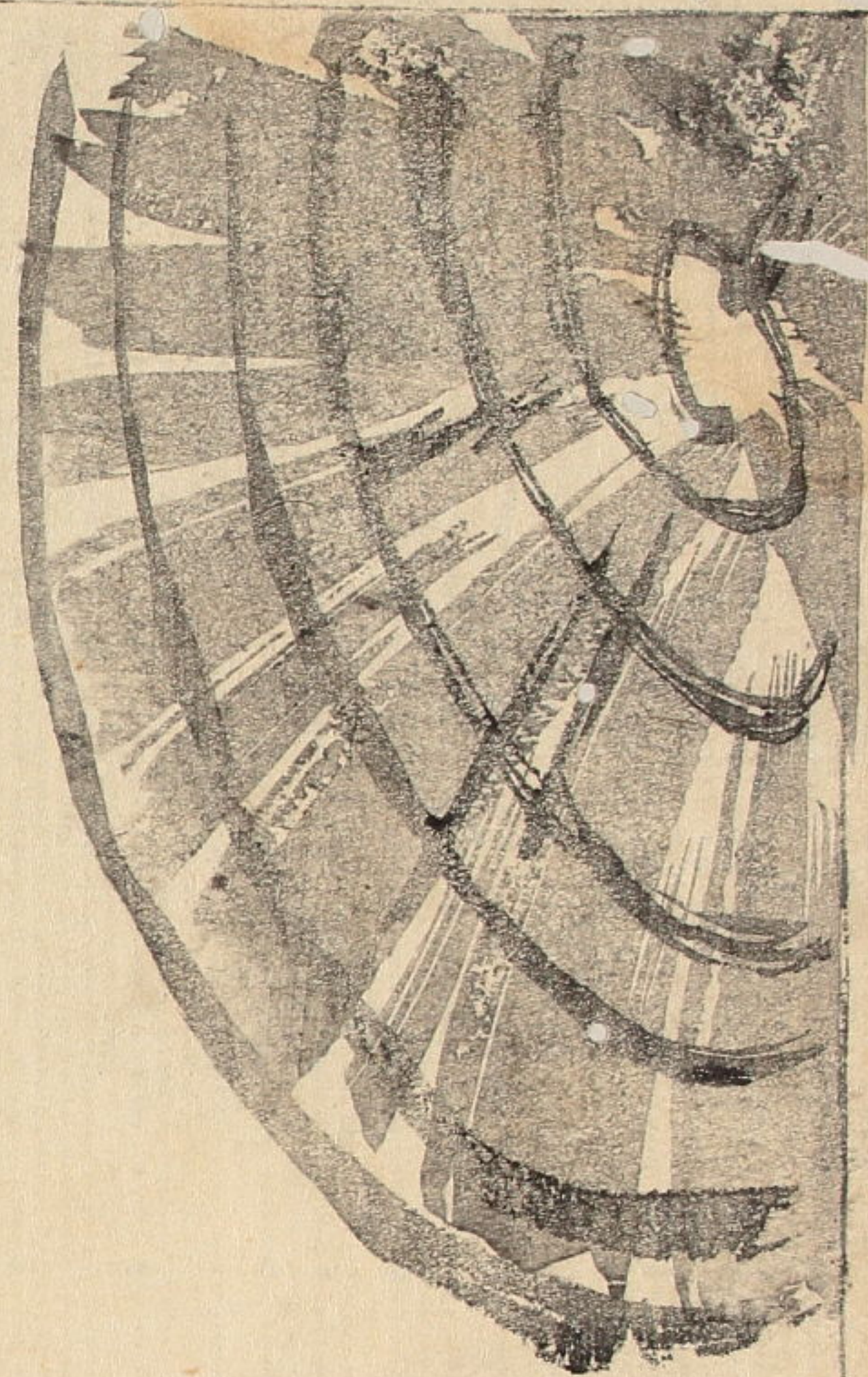
牧
 遊

奇泉
 猫之
 奇泉





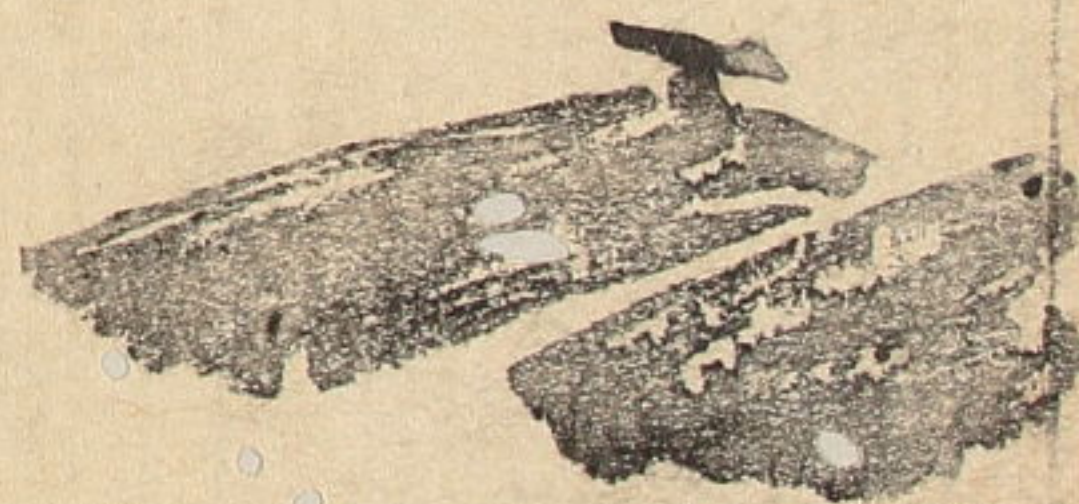
景
深
乃
昔



宗
信
館
請
い

法
心
子
子
子

可
来





魚を喰ふ事
以換

以換

飲者

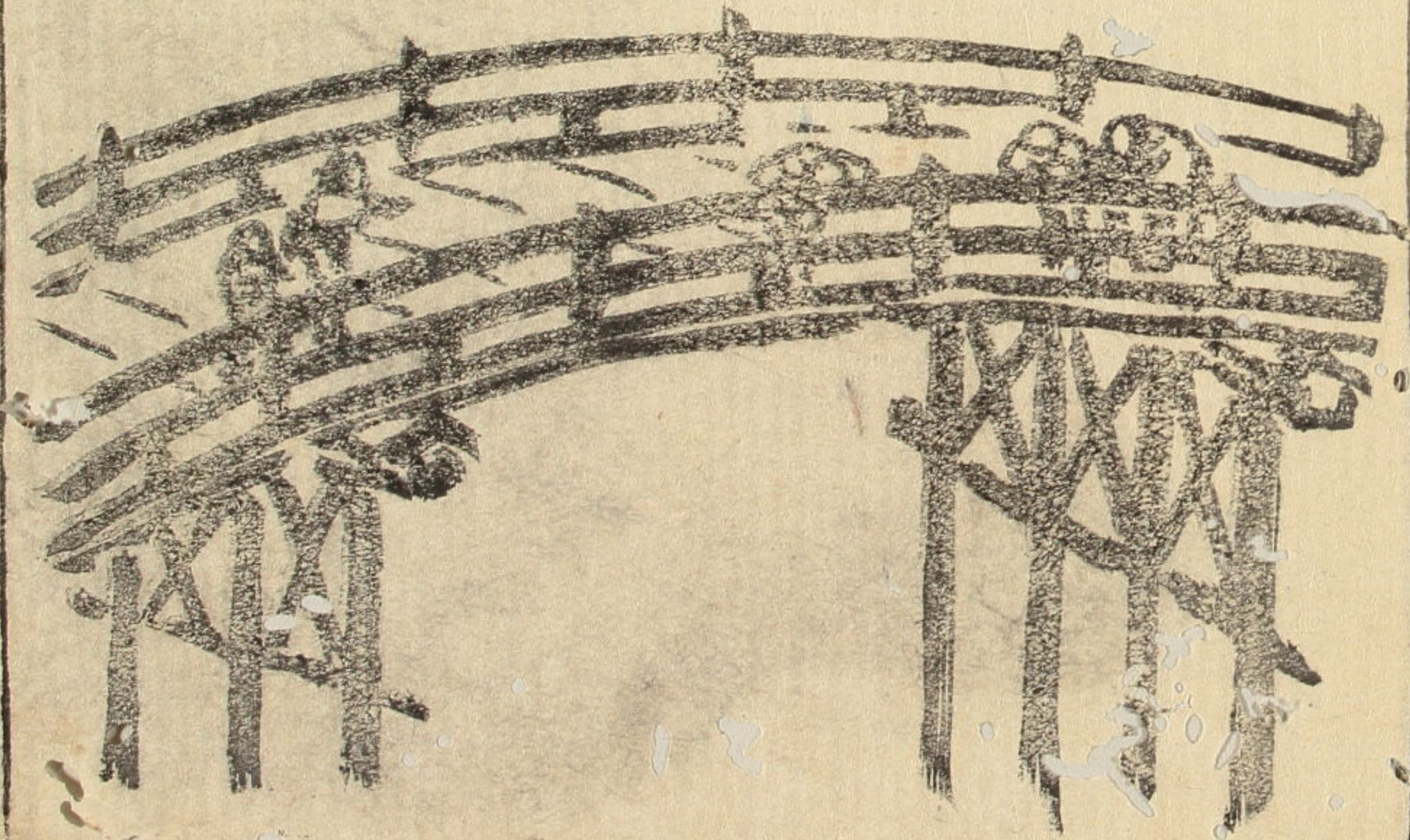
負よの
つげり
かきこむ



嵐荷

此乃
花
之
中

編臨也



歌杏

入
字
如
根
芽
山



常法

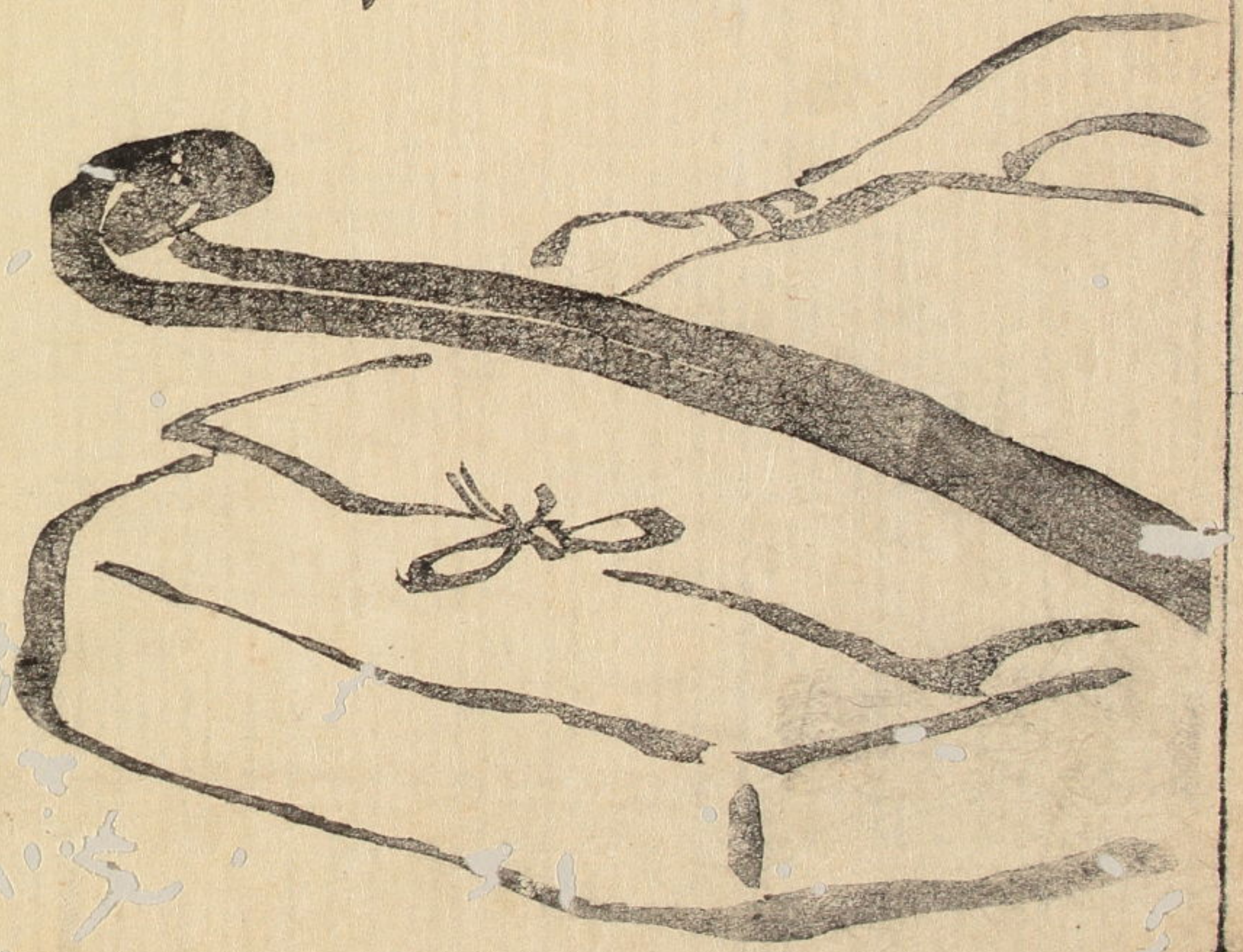
志如夫の

山越

胡弓

弓

素十

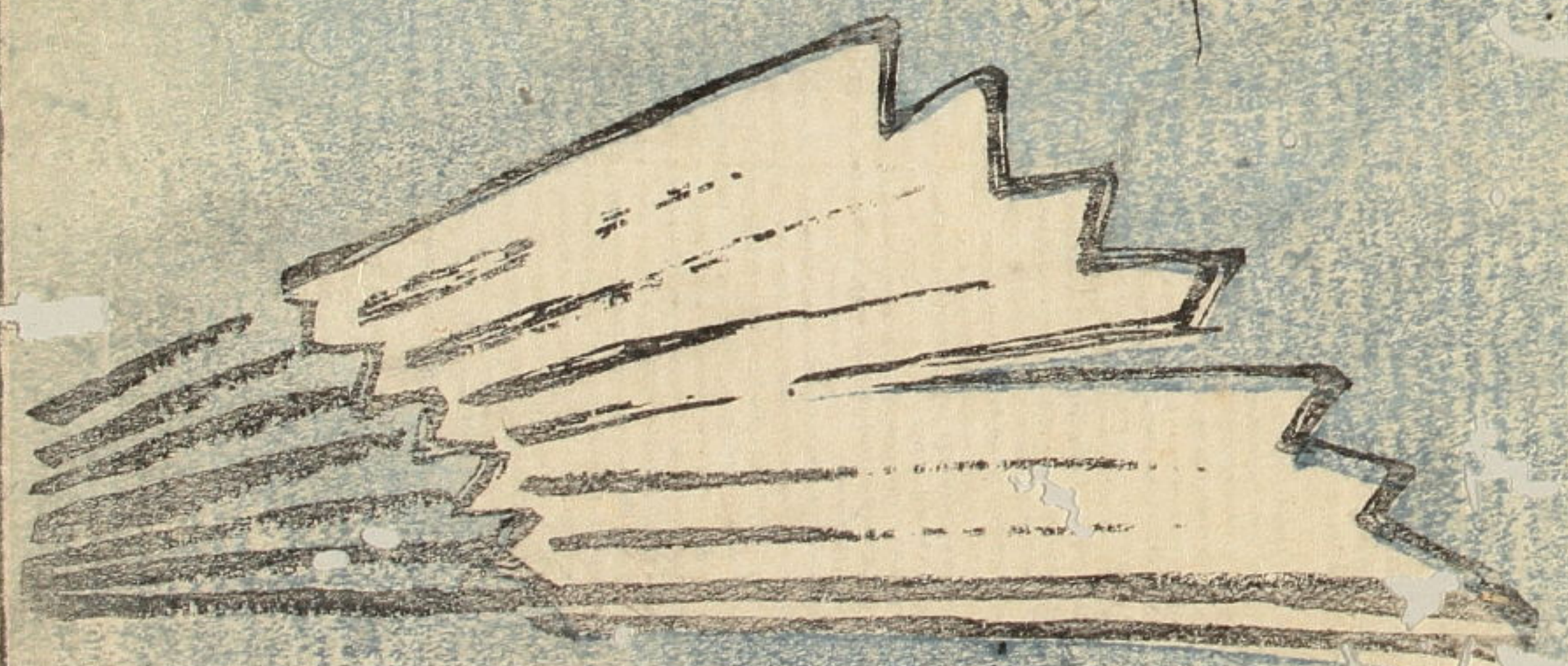


少慈也

果少経由

一

可也



儿图

此器中实尔

之何雨乃

水乃

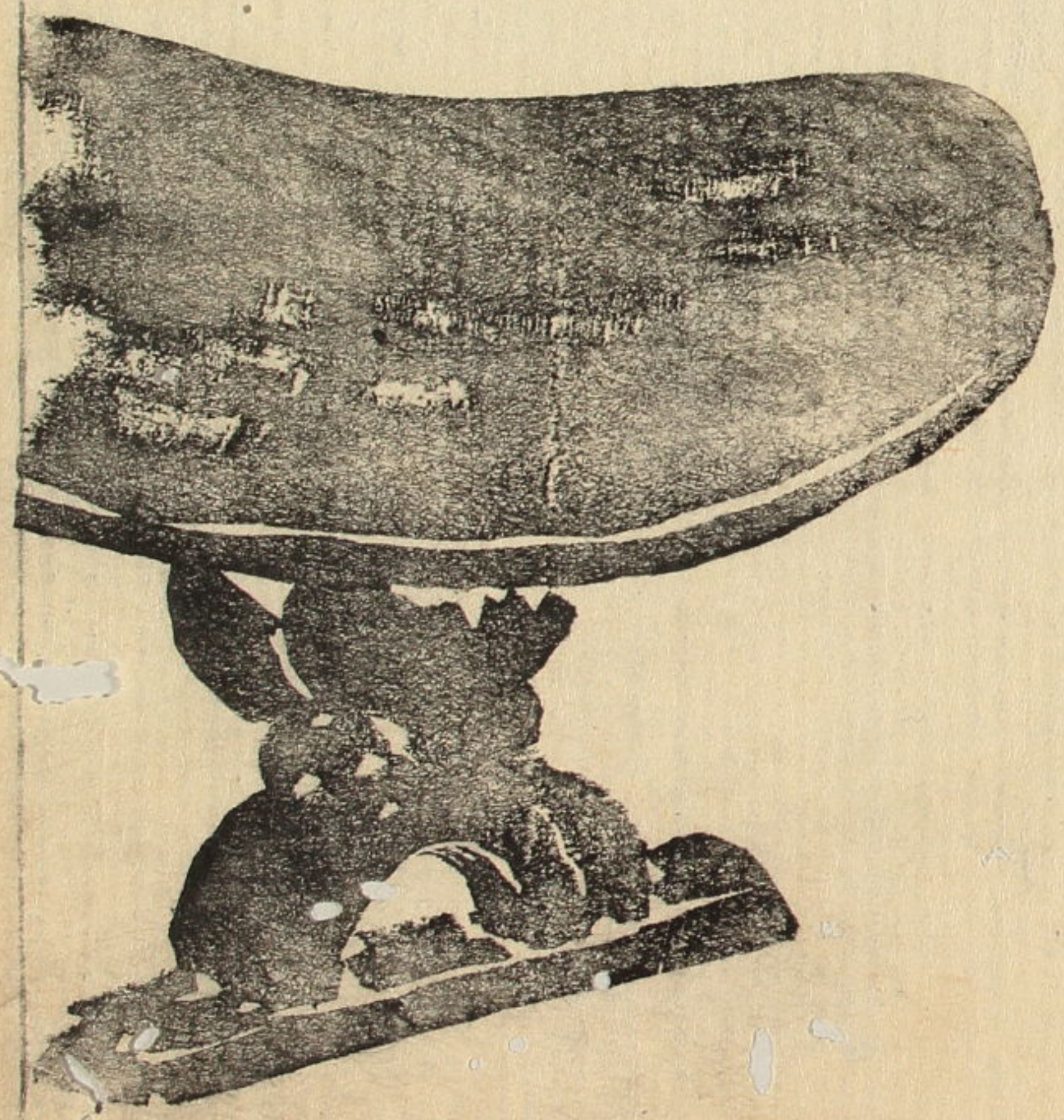


乃乃乃

一

一乃乃

一乃



中島初流
秋の心
そき片の
木林

巴良



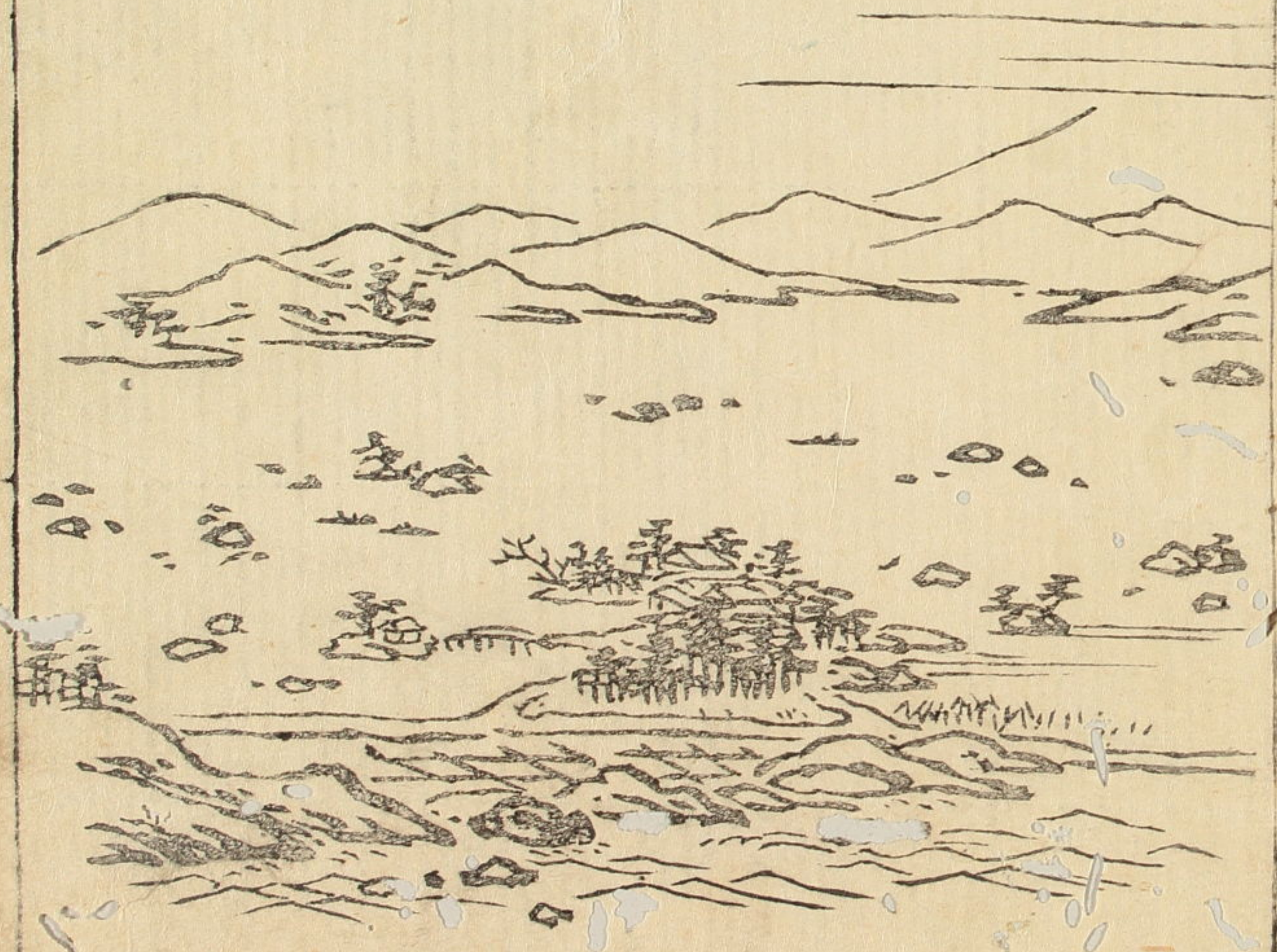
冬海也

予の心

おきり

秋の
ま

隆交



初稿 三
上

卷之三



卷之三

卷之三

卷之三

解

卷之三



松の葉
一
松の葉
松の葉



柳の葉
柳の葉
柳の葉
柳の葉



紙

名
子
子

子
子

三子

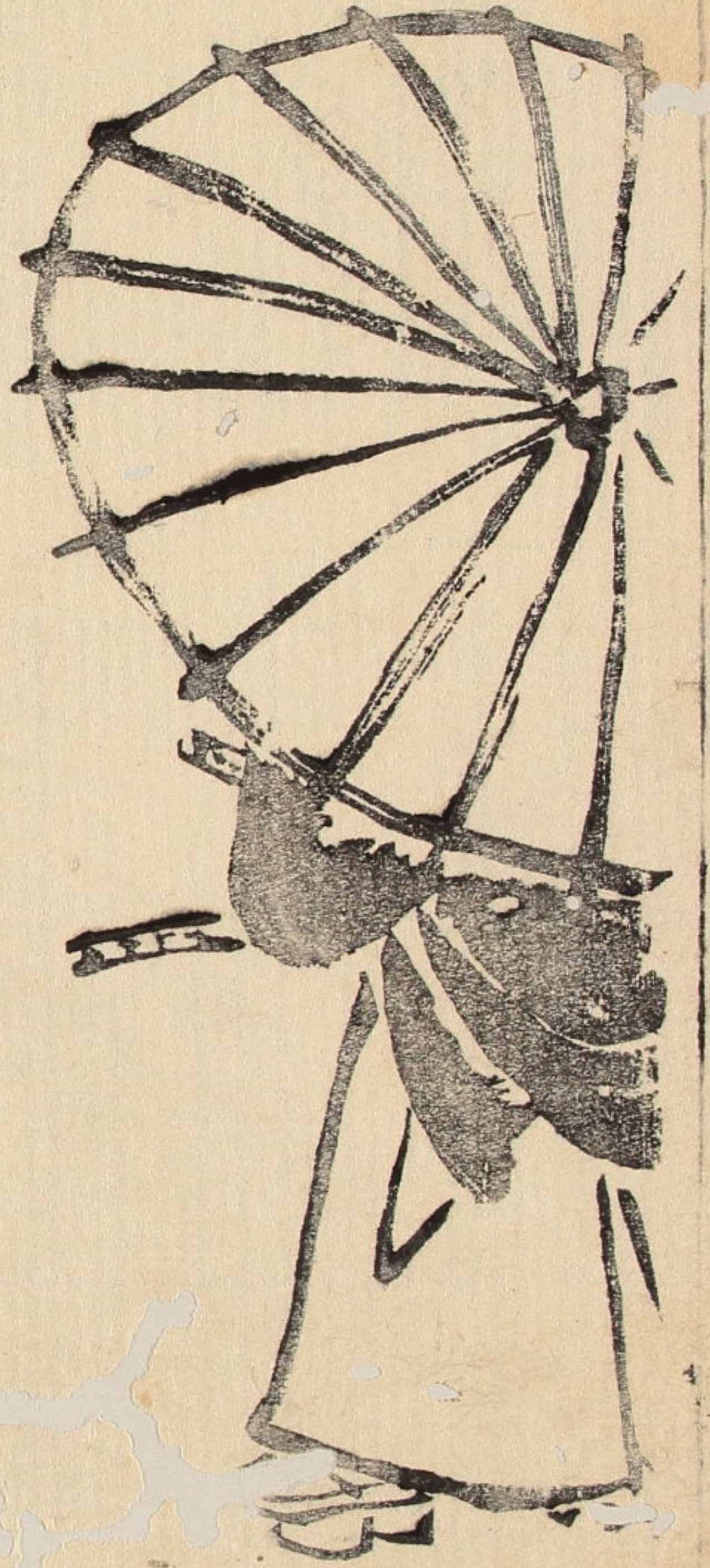


幼
子

清
子
子

二
力
子
子

嵐



陳中河氏

孫平山の女

陰雅詩

画主 ぬ泉新嵐見



昔もねり且石と音うり

九皇

名月やさむいよあはす記さる

百龍

古歌やまは申より不言の春

六美

あはらうるをえんぬる山

道後

おぼろをそらりし山嶺

山嶺

おぼろの山嶺をそらりし山嶺

石三

あはれや野はこぼり花の春

壬朗

あはれやのこぼり花の春

吾長

鶴をりて破るるの眠るるの
中ね 鶴の方へ秋の静のさへ
川風のさへさへさへさへ梅のさへ
蚊をりて川をさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへさへ

重厚

天左

乙二

川邊

春朝

柳

舟

山吹さへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへ
さへさへさへさへさへさへ

月屋

稻

翠

且

魚

隱

春

暮

花はさきとさしつらきしをさる

果兆

拾ひくくは後まの力むふ

玉儀

川汐の里まくさるむ海也さる

玉屑

河まりの梅焼花くおるる月

玉

物くぬ扇のふれつこくよ

玉

花林のさほくさきうりさる

竹

さき花の母ハ七十ま五寸

琴

嵐さきつらさるたる梅か

梅

剗剗 修月堂

此画山一

何子持以人画之

若子持乃人画之

子持乃持画之

之

子持

太持乃何持

系之乃之乃乃

通之乃乃乃乃

之

此乃乃乃乃

乃乃乃乃

若子...
...
...

事茂

...

本...

系...
...
...

此...

山...

...

全...

